|  |
| --- |
| **４　講演** |

　　演題　　「わが国の学校におけるESDの役割とその実践」

　　講師　　国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部

　　　　　　総括研究官　　　松原　憲治

〈研究経歴〉

山口県の公立中学校助教諭・高等学校教諭、青年海外協力隊（派遣国：ザンビア、職種：理数科教師），

国際協力機構専門家（ガーナ理科教育／授業研究）を経て，2009年4月から現職。専門は科学教育，

理科カリキュラム開発，国際教育協力。国立教育政策研究所ではIEA/TIMSS2015国別調査責任者

（理科担当）およびOECD／TALIS2013事務局担当。国際調査とともに教育課程編成に関する実践的

研究に従事。2014年11月の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に

おいて，国立教育政策研究所が南アフリカのローズ大学（Rhodes University）と公式プログラムで

ある国際ワークショップの一つを共同主催した際には，国立教育政策研究側のコーディネータを担当

した。

〈研究業績等〉

　・ 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」における国際ワーク

　　ショップ（Ⅰ-１）ESDの概念―これまでの道のり，今後の展望―，松原憲治，ロブ・オダナ

　　ヒュー，佐藤真久，岡本弥彦，五島政一，二井正浩，後藤顕一，上野耕史，平成成26年度国立

　　教育政策研究所紀要（近刊）

　・ 持続可能な社会の形成を志向した理科教材開発-科学的意思決定場面を有する教材開発に向けた

　　予備的考察，松原憲治・松原静郎，平成27年度日本理科教育学会北海道支部大会，2015

　・ 資質・能力の育成を目指す授業における「本質的な問い」―IBの事例から―，松原憲治, Rimse

　　（リムス），11，9-10, 2015

　・ A Statistical Analysis of Characteristics of the National Curriculum of Japanese Primary

　　Science Using TIMSS–2011 Grade 4 Curriculum Questionnaire, Kenji Matsubara, Yasuhito

　　Hagiwara and Yuji Saruta, A Paper presented at the 6th IEA-International Research

　　Conference 2015,June, 2015

　・ 科学技術的意思決定能力の育成をめざす教科横断的アプローチに関する研究―COMPASS教材の

　　分析を通して―，西村圭一・松原憲治・上野耕史，科学教育研究，39（2），77－85，2015

　・ Lesson Study and Curriculum Development ―from Japanese Experience―, Matsubara,K.,

　　Keynote speech presented at the 6th ICLS 2013 at Indonesia University of Education,

　　Indonesia， August 2013

　　Implementation of 2012 International Workshop on Educational Co-research for Sustainability

　　―International Co-research on SD Educational Materials to Be Conscious of the Usefulness of

　　Science and to Foster Scientific Attitude―, MATSUBARA, K., ITHNIN, BT R.,GOTO, K.,

　　TERATANI, H., MATSUBARA, S.，Research Bulletin, Toin University of Yokohama

　　（桐蔭論叢），2

MEMO

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |